株式会社竹内製作所
重要課題（マテリアリティ）一覧表

2021年2月25日
株式会社竹内製作所

#	重要課題（マテリアリティ）			ESG			（※）ISO2600 7つの中核課題							SDGs 17のゴールと169のターゲット（表中の数字はSDGs 169ターゲットの番号です。）															
	解決する社会課題	取り組みテーマ	概　要	E	S	G	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	気候変動の抑制	電池式ミニショベルの開発・製造・販売	電池式ミニショベルを開発・製造・販売することにより、環境負荷の低減、作業現場周辺への影響を最小限に留めます。	○						○						3.9				7.3		9.4		11.6	12.4	13.2	14.3			
2	気候変動の抑制	工場のGHG排出の削減	気候変動の対策として、工場からのCO2をはじめとする温室効果ガスの排出の削減に取り組みます。	○						○										7.3		9.4				13.2	14.3			
3	気候変動の抑制	工場のエネルギー効率向上、 再生可能エネルギー利用拡大	気候変動の対策として、工場が利用する電気、ガス等のエネルギーの効率向上に取り組み、また太陽光発電等による再生可能エネルギーの利用拡大を推進します。	○						○										7.2 7.3		9.4				13.2				
4	循環型経済の実現	工場の3Rの取り組み	工場からの廃棄物の削減と、リサイクル、再使用に取り組み、循環型経済に寄与してまいります。	○						○															12.3 12.4 12.5		14.1			
5	環境負荷の削減 環境汚染の防止 化学物質管理	環境負荷を抑えた建設機械の開発・製造・販売	地球環境への負荷低減だけでなく、作業者への負担を軽減する安全性と快適性に優れた建設機械を開発・製造・販売してまいります。	○						○						3.9				7.3		9.4		11.6	12.4	13.2				
6	環境負荷の削減 環境汚染の防止 化学物質管理	工場の化学物質排出、排水の削減	環境と従業員の健康のため、工場で扱う化学物質の適正な管理とその排出による汚染の防止、排水の適正な削減に取り組みます。	○						○						3.9			6.1 6.3					11.6	12.2 12.4		14.1			
7	環境負荷の削減 環境汚染の防止 化学物質管理	SDS、Reach規制、RoHS指令の対応	SDS（安全データシート）使用徹底により、製品に含まれる化学物質を適正に管理します。Reach規制、RoHS指令に対応します。	○						○						3.9			6.3					11.6	12.4					
8	持続可能な街づくり	市場ニーズに細かく応えた製品開発により、 建設機械の稼働現場の生産性・作業効率を向上	エンドユーザーとのつながりを強化し、より多くのエンドユーザーから声を集めることにより、製品の改善、サービス、顧客満足度の向上に努めます。		○							○									8.2 8.8									
9	持続可能な街づくり	レジリエントな街、インフラの建設・整備に寄与する 建設機械の開発・製造・販売	当社の事業そのものであり、かつ当社が最も得意とする分野です。より安全で、より効率的で、よりクリーンな建設機械の開発・製造・販売・サービスを通じて、広く社会に貢献してまいります。		○							○		1.5	2.4	3.6	4.a		6.1 6.2 6.4			9.1 9.a		11.1 11.2 11.3 11.4 11.5 11.7 11.a 11.b		13.1	14.1 14.5 14.7	15.2		
10	お客様への責任ある対応	製品・サービスに関する情報拡充により、 エンドユーザーとのつながりを強化	エンドユーザーが必要とする情報の提供、エンドユーザーからの要望の集約、それらを当社内で活用するシステムの導入により、当社とエンドユーザーのつながりを強化します。		○							○									8.2 8.5									
11	人権尊重 適正な労働慣行	雇用の差別の撤廃	労働、雇用におけるあらゆる差別を撤廃します。 同一労働同一賃金、障がい者雇用の推進に取り組みます。		○			○	○								4.3 4.4 4.5				8.5 8.8		10.2 10.3						16.3	
12	人権尊重 適正な労働慣行	ハラスメントの防止	人権を尊重し、あらゆるハラスメントの防止に取り組みます。		○			○	○									5.1			8.5		10.3						16.1 16.3	
13	労働安全衛生 従業員の健康	竹内製作所（単体）での健康経営	従業員の健康増進、メンタルヘルスケア、労働安全衛生に取り組みます。		○				○							3.3 3.4 3.5 3.8 3.9														
14	人材開発	教育・研修制度の拡充	従業員の成長と能力開発のために、教育・研修制度の拡充に取り組みます。		○				○								4.3 4.4													
15	ワークライフバランスの推進	育児・介護休業、時短勤務等の制度利用推奨	従業員の働きやすさ、ワークライフバランス推進のため、多様な働き方、生き方を尊重し、福利厚生の充実や働き方改革に取り組みます。		○				○							3.4		5.1 5.4			8.5									
16	女性活躍推進の強化	女性取締役の選任、女性管理職の候補育成	女性の取締役の選任と、女性の管理職候補の育成に取り組み、女性活躍と経営の多様性を推進します。		○	○	○	○									4.3	5.1 5.5			8.5		10.3						16.7	
17	地域の次世代育成	竹内製作所（単体）での 工場見学、講師派遣、自立支援学校との連携	地域やコミュニティの発展のため、子どもに向けて、工場の社会科見学への開放、課外学習への講師派遣、自立支援学校の授業協力など、次世代育成に貢献します。		○								○				4.1 4.5 4.7						10.2						16.1 16.3	
18	環境・社会に配慮した サプライチェーンの構築	CSR調達方針の策定、実行	持続可能なサプライチェーンのため、環境、人権、労働、腐敗防止等に取り組むCSR調達方針を掲げ、実行します。	○	○							○									8.4 8.7				12.1 12.2 12.4				16.3	
19	環境・社会に配慮した サプライチェーンの構築	サプライヤーにCSR調達方針の同意書を依頼	CSR調達方針の実行のため、サプライヤーから同意書を取得する取り組みを進めます。	○	○							○									8.4 8.7				12.1 12.2 12.4				16.3	
20	環境・社会に配慮した サプライチェーンの構築	製品廃棄時の解体・回収・リサイクル	かけがえのない地球を次世代へ継承するため、製品廃棄時の解体・回収・リサイクルシステムの構築に取り組んでまいります。	○								○									8.4				12.1 12.2 12.5					
21	コンプライアンス	法令・規制の遵守、反社会的勢力の排除	腐敗防止、反社会的勢力の排除など、法令およびその精神を遵守し、社会的倫理や良識に従った企業活動に努め、当社の行動規範を遵守します。			○	○												6.3		8.5		10.2 10.3		12.4		14.1	15.1	16.3 16.4 16.5	
22	コーポレート・ガバナンス	グローバルガバナンスの強化	公正かつ透明な経営のため、迅速かつ適切な意思決定と経営の意思を確実に伝達させる経営管理体制を整備し、グループ全体でのグローバルガバナンスの強化に取り組みます。			○	○																		12.6				16.7	
23	リスクマネジメント	危機管理体制、BCP、情報セキュリティ	当社の持続的な発展に対し、重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクを分析・評価・対処するリスクマネジメントに取り組みます。			○	○									3.9					8.5			11.5 11.b	12.4	13.1			16.3 16.10	

（※）ISO26000 7つの中核課題
1 組織統治（ガバナンス）
2 人権
3 労働慣行
4 環境
5 公正な事業慣行
6 消費者問題
7 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展